

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記検査項目につきましては試薬販売元より血清検体を凍結保存することにより、検査値に影響を及ぼす可能性があることが確認されたとの報告を受けました。このため血清検体保存条件を凍結から冷蔵に変更させていただきます。

また、試薬販売元からより適切な材料として血漿検体が案内され、弊社といたしましても下記期日より検査材料を血漿に変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

変更内容

● 3121 HIV-1 RNA定量《TaqManPCR法》

	新	旧
検体量	EDTA-2K 血漿 3.5mL(容器番号:135)	血清 3.5mL(容器番号:134)
保存方法	冷蔵	凍結(-20℃以下)
検体の安定性	6日	1ヶ月
備考	必ず専用採血管(EDTA-2K 添加分離剤入り)にて採血の上、正しく遠心分離してご提出下さい。(1200g±400gで20分間) ※基準値等その他の検査要項に変更はございません。	

変更期日

● 平成 22 年 1 月 30 日(土) 受付日より

※血漿提出用の専用容器は順次お届けいたしますが、お手元に届くまでの間、血清検体での提出に際しましては冷蔵(検体の安定性:5日)にてご提出下さい。また遠心分離前に十分凝固させ(室温 60分程度放置)、かつ、正しく遠心分離(1200g±400gで20分間)をした上でご提出下さい。

